

H29年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究
分担研究報告書

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究

研究分担者 山下 敏彦 札幌医科大学整形外科学講座 教授
研究協力者 村上 孝徳 札幌医科大学整形外科学講座リハビリテーション医学講座 講師

研究要旨

慢性疼痛への治療アプローチとして multidisciplinary な診療体系の構築およびその治療結果に関して検討を行う

A．研究目的

慢性疼痛診療における multidisciplinary な診療概念、診療体系の構築および治療効果を検討する。

B．研究方法

平成29年10月慢性疼痛センターを組織した。平成30年1月6日慢性疼痛に関する講演会を行った。（資料1, 2）

multidisciplinary な診療を試みた慢性腰痛症例に対しNRS, PDAS, HADS, PCS EQ-5Dを疼痛評価として用い治療前後で比較を行う。

（倫理面への配慮）

対象に対して multidisciplinary な診療における概念概要、実際の治療・評価に関して十分な説明を行い、同意を得る。

C．研究結果

初診時および3か月時点においてNRS: 5.3 - 4.2, PDAS: 23.4 - 19.1, HADS: 8.1 - 7.4, 8.1 - 7.1, PCS: 33.2 - 27.4 EQ-5D: 0.57 - 0.65と改善が得られていた。

D．考察

NRS, PDAS, HADS, PCS EQ-5Dを用いた評価から慢性疼痛症例に対して multidisciplinary な診療の有用性が示唆された。

これらの結果は慢性疼痛に対して社会心理学的アプローチの有用性を示すが疼痛を消失さ

せるものではなく、従来行われている疼痛伝達に対する身体的研究と合わせての発展が必要である。

E．結論

NRS, PDAS, HADS, PCS EQ-5Dを用いた評価から慢性腰痛症例に対して multidisciplinary な診療による社会心理学的アプローチの有用性が示唆された。

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G．研究発表

1. 論文発表

- 1) Ogon I, Takebayashi T, Takashima H, Morita T, Yoshimoto M, Terashima Y, Yamashita T. Magnetic resonance spectroscopic analysis of multifidus muscle lipid content and association with spinopelvic malalignment in chronic low back pain. Br J Radiol 2017;90:20160753
- 2) 黄金勲矢、竹林庸雄、宮川健、岩瀬岳人、谷本勝正、寺島嘉紀、神保俊介、山下敏彦．後根神経節へ局所投与された -antagonist は神経根絞扼モデルラットの交感神経の発芽を抑制する．J Spine Res 2017;8:112-116

2. 学会発表

- 1) Ogon I, Takebayashi T, Miyakawa T, Iwase T, Tanimoto, K, Terashima Y, Kobayashi T, Tohse N, Jimbo S,

Yamashita T. Supression of sympathetic nerve sprouting by local administration of α -antagonist around dorsal root ganglion in a lumbar radiculopathy model. 62nd ORS:19-22 March, 2017, San Diego

- 2) 高島弘幸、竹林庸夫、黄金勲矢、寺島嘉正、谷本勝正、家里典行、吉本三徳、山下敏彦．MRI 定量的画像解析法を用いた慢性腰痛の関連因子の検討．第90回日本整形外科学会学術集会：平成29年5月18日-21日、仙台
- 3) 黄金勲矢、竹林庸夫、森田智慶、寺島嘉正、吉本三徳、山下敏彦．多裂筋・大腰筋脂肪変性と腰椎椎間板変性の関連-MRIによる定量的評価法を用いて-．第90回日本整形外科学会学術集会：平成29年5月18日-21日、仙台
- 4) 黄金勲矢、竹林庸夫、森田智慶、寺島嘉正、谷本勝正、吉本三徳、高島弘幸、山下敏彦．慢性腰痛の疼痛メカニズムに關与する因子とNSAIDsとプレガバリンによる治療効果の検討．第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会：平成29年4月13日-15日、札幌
- 5) 高島弘幸、竹林庸夫、黄金勲矢、森田智慶、吉本三徳、寺島嘉正、谷本勝正、山下敏彦．腰痛と骨密度、四肢筋量および傍脊柱筋脂肪量の関連．第10回日本運動器疼痛学会：平成29年11月18日-19日、福島

H．知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

- 1.特許取得
なし
- 2.実用新案登録
なし
- 3.その他
なし

札幌医科大学附属病院慢性疼痛センター構成員

任期の定めなし

	所属	職	氏名	摘要
センター長	整形外科	科長	山下 敏彦	整形外科学講座教授
構成員	麻酔科	科長	山蔭 道明	麻酔科学講座教授
	神経精神科	科長	河西 千秋	神経精神医学講座教授
	リハビリテーション科	科長	石合 純夫	リハビリテーション医学講座教授
	歯科口腔外科	病棟医長	宮崎 晃亘	口腔外科学講座准教授
	リハビリテーション科	病棟医長	村上 孝徳	リハビリテーション医学講座講師
	麻酔科	外来医長	岩崎 創史	麻酔科学講座講師
	神経精神科	外来医長	石井 貴男	神経精神医学講座助教
	泌尿器科	外来医長	福多 史昌	泌尿器科学講座助教
	整形外科		谷本 勝正	整形外科学講座助教
	リハビリテーション部	副部長	柿澤 雅史	

[厚生労働省 平成29年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業]

札幌医科大学附属病院 慢性疼痛センター開設記念講演会

日時 2018年1月6日(土) 15:00~

会場 札幌医科大学記念ホール
〒060-8543 札幌市中央区南1条西17丁目

参加
無料

【プログラム】

挨拶 山下 敏彦 (札幌医科大学附属病院 慢性疼痛センター長
札幌医科大学医学部整形外科学講座 教授)

Introduction 村上 孝徳 (札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 講師)

講演1 (15:30~)

座長 山蔭 道明 (札幌医科大学医学部麻酔科学講座 教授)

「岡山大学病院運動器疼痛性疾患 治療研究センターの取り組み」

鉄永 倫子 先生 (岡山大学病院 運動器疼痛性疾患治療センター 助教)

講演2 (16:30~)

座長 山下 敏彦 (札幌医科大学医学部整形外科学講座 教授)

「慢性の痛みの克服に向けて: 集学的な慢性疼痛センターの必要性」

牛田 享宏 先生 (愛知医科大学学際的痛みセンター・運動療育センター 教授)

主催

札幌医科大学附属病院 慢性疼痛センター

連絡先

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座
〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
電話:011-611-2111(代)